

## 平成 18 年度包括外部監査の措置状況報告について

### 1 平成 18 年度包括外部監査の措置報告

平成 18 年度横浜市包括外部監査の改善状況については、平成 19 年 9 月 26 日の経済観光・港湾委員会で経過報告をいたしました。平成 19 年度措置状況として監査事務局長に報告をした港湾局に関連する案件は次のとおりです。

<港湾局関連>		【指摘及び意見】	(措置済)	(未措置)
○港湾局の事務の執行について	33件		31件	2件
○財団法人横浜港埠頭公社	12件		8件	4件
○埋立事業会計	8件		8件	—件
○みなとみらい21事業	6件		6件	—件
合 計	59件		53件	6件

### 2 措置済みの主な内容

前回の報告で19年度末改善予定であったもののうち、その後の取り組みで措置済みとなった主なものは次のとおりです。

#### (1) 補助金（厚生施設整備費補助金）の目的外支出について改善を求めるもの

（措置内容）

補助金対象施設である福利厚生施設の公共性を将来にわたって担保するため、本来の目的以外に利用できないよう、施設所有者と運営者の管理運営委託契約を改正しました。

#### (2) 船員福利厚生施設（ナビオス横浜、エスカル横浜）への貸付契約の見直しを求めるもの

（措置内容）

船員福利厚生施設への普通財産の無償貸付については、平成20年1月1日から3年間の新たな有償契約を締結しました。

ア エスカル横浜は、貸付目的である船員や海事関係者の厚生施設として機能していることから無償貸付を継続しますが、コンビニエンスストア部分については時価貸付としました。

イ ナビオス横浜は、現在の利用状況から無償貸付は見直し、1/2減額貸付としました。

### 3 未措置案件の取組状況

#### (1) 横浜港大さん橋国際客船ターミナルの収支計画の見直しを求めるもの

(取組状況)

すでに駐車場料金の見直し、また屋上灌水の利用や節電などにより、経費の節減を図りました。今後も利用促進策や収支改善のための諸施策を実施します。

#### (2) 柔軟な料金体系の構築を求めるもの

(取組状況)

柔軟な料金体系の構築については、横浜港埠頭公社が東京港埠頭公社の民営化後の料金体系など他公社の状況等を勘案して検討を進めることとします。

#### (3) 再々委託契約について、その実態と必要性の調査を求めるもの

(取組状況)

平成20年度より「南本牧ふ頭埋立造成に係る建設発生土受入業務委託」に係る警備業務等については、再々委託を解消し、横浜港埠頭公社が競争入札を導入してまいります。

#### (4) 建設発生土受入事業の管理方法の再検討を求めるもの

(取組状況)

管理方法について検討を行った結果、横浜港埠頭公社への一元委託方式が最も望ましいとの結論を得ました。ただし、平成20年度から、主要な再委託契約について、随意契約を改め、競争入札を導入してまいります。

#### (5) 横浜はしけ運送事業協同組合との随意契約の見直しを求めるもの

(取組状況)

平成20年度より随意契約を改め、横浜港埠頭公社が競争入札を導入してまいります。

#### (6) (社)神奈川県建設業協会との随意契約の見直しを求めるもの

(取組状況)

平成20年度より随意契約を改め、横浜港埠頭公社が競争入札を導入してまいります。